



## 図書館だより

図書館本館 (広見) ☎5120  
帷子分館 ☎8530  
桜ヶ丘分館 ☎3473

**開館時間**  
本館 火～金 午前10時～午後7時  
土日祝 午前10時～午後5時  
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

**休館日**  
本館・分館共通  
毎週月曜日、26日(金)

### 展示のご案内 (本館)

「たばこについて知っていますか?」展 (健康増進課)  
期間 6月7日(日)まで  
「男女共同参画推進週間」展 (人づくり課)  
期間 6月10日(水)～25日(木)  
6月23日から29日は、男女共同参画推進週間です。

### 大人向けお話し会 (ストーリーテリング)

■大人向けお話し会 (ストーリーテリング)  
期日 6月18日(木)  
時間 午前10時30分～正午 (受け付けは午前10時から)

場所 図書館本館3階会議室  
申込開始 6月5日(金)  
定員 30人 (先着順)  
講師 しずくの会の下澤いつみさん、橋崎久美子さん

大人向けに長いお話や昔話などを語ります。

### かにっ子タイム

毎週土曜日午後2時から行います。

○工作教室「牛乳パックのタンバリン」  
日時 6月20日(土) 午後2時～  
場所 図書館本館3階 会議室  
講師 工作☆ふしぎな泉のみなさん  
定員 30人 (親子の参加も可)  
参加費 無料  
持ち物 なし (家があれば、はさみ、ホチキス)

申込受付中! 楽しい工作教室です。先生たちが丁寧に教えてくれます。

○さんしろう絵本ライブ  
日時 7月4日(土) 午後2時～  
場所 図書館本館3階 学習室  
申込開始 6月18日(木)  
定員 親子50組 (先着順、1人での申し込みも可)  
参加費 無料

講師 杉山三四郎さん (絵本と童話の店「おおきな木」代表)

内容 絵本の読み語りやギターによる絵本の弾き語り、言葉あそびなど  
※駐車場がせまいため、市役所駐車場の駐車をお願いします。時間に余裕を持ってお越しください。

### ちびっこかにっ子タイム

本館 11日(木)、25日(木)  
時間 午前11時～11時30分  
帷子分館 11日(木)、25日(木)  
時間 午前10時30分～11時  
桜ヶ丘分館 3日(水)、17日(水)  
時間 午前11時～11時30分  
※6月から、桜ヶ丘分館の開催時間を変更します。

### ケーブルテレビ可児で

## いきいきマイタウン

6/6(土)～12(金)

ようこそ!市長室へ

6/13(土)～19(金)

好きなのはカニダー

6/20(土)～26(金)

荒川豊蔵人間国宝認定60年記念展

6/27(土)～7/3(金)

簡単!山ごはんレシピ

Kルートで行こう!

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・21:00  
土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00

### FMららで

## 可児市役所からこんにちは

6/4(木) 11:20～

ようこそ!市長室へ

6/11(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

6/18(木) 11:20～

荒川豊蔵人間国宝認定60年記念展

6/25(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

おはよう可児市役所 月～金曜日 8:00～  
発見!可児の魅力 毎週土曜日 10:00～

## もう一度確認を!災害時の情報収集

### すぐメールかに

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。

登録方法はコチラ



### 「防災無線」電話で確認サービス

専用電話番号 ☎0574 ②1548

防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。

※通話料金が必要です。  
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

## イベント掲載申し込み 随時受付中!

KANICITY X 365days  
イベントカレンダー

今日はどこに行く?



可児市ふるさと広報大使 塚本明里さん

可児 イベント 365 検索

市のイベントに限らず、民間事業者や各種団体が主催するイベントも掲載しています。



「自然の中で五感をフルに使って遊ぶことは、子どもの成長・発達にとっても大切だ」と、尾木ママをはじめ多くの方が言われます。

自然の中では、大きな木、さまざまな色や形をした葉っぱや草花、ミミズや昆虫、カタツムリなど、すべてが遊びの材料であり、決まった遊び方はありません。時には、擦り傷やかぶれなどの危険もあります。

自分で考え工夫して、自発的に動くことが、子どもの創造力を育てます。自然体験が、危険察知能力を養い、豊かな感性を育みます。

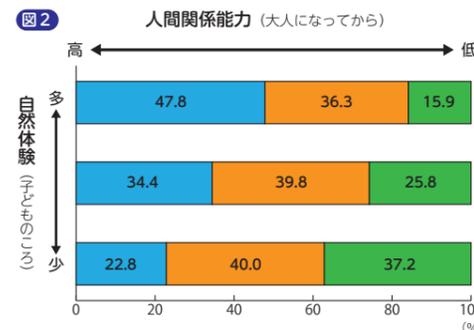
また、「花まる学習会」代表の高濱正伸さんは「外遊びこそが算数の最高の教材」だと言っています。図形の問題でも文章問題でも、イメージする力が必要になります。そのイメージする力を育てるのに一番良いのが外遊びだと。7月9日(木)には、アリーナで高濱さんの講演会を開催します。興味のある方はぜひお越しください。

ある調査では、子どものころに魚や貝を採ったりする自然体験が多いほど、大人になってからの意欲・関心が高いということが明らかになっていきます(図1)。さらに、動物との関わりをはじめ、地域活動

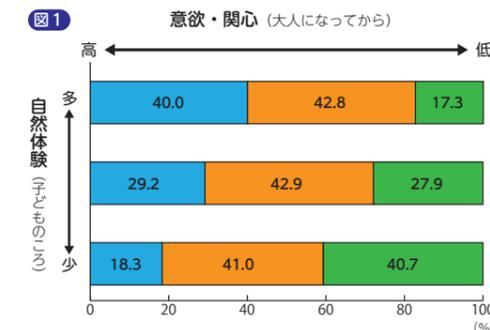
## 可児の自然は大切な子育て応援団



ようこそ!  
市長室へ



出典: 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告 (平成22年)



出典: 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告 (平成22年中間報告)

や家事手伝いなどの体験が多い子どもほど、思いやりやモラル、やる気や生きがいが、人間関係能力(人前で緊張し過ぎない、友達を仲直りさせる、

近所の人に挨拶ができる、初めて会った人でもすぐ話ができる、友達に相談されるなど)などの資質・能力が高くなるそうです。また、自然体験の多さと人間関係能力とは、比例関係にあるという調査結果もあります(図2)。

昼間に太陽の光をしっかりと浴びると、夜にメラトニンという睡眠ホルモンが分泌されて、子どもの成長に不可欠な、心地よい眠りにつくことができます。これも知られています。

前頭葉の働きが未熟で、いつもそわそわキョロキョロして落ち着きのない「前頭葉そわそわ型」の子どもは、ワクワクドキドキ体験で減っていくそうです。

私も、子どものころの遊び場は、木曾川や可児川、鳩吹山や里山。遊び相手は、小魚やドジョウ、ザリガニや昆虫、時には蛇との対決。毎日ワクワクドキドキでした。でも、洗濯のために、毎晩私のズボンのポケットを裏返すとき、いったい今日は何が出てくるのか、母もハラハラドキドキだったそうです。もちろん何が出てきても、叱られたことは、一度もありません。

可児市長 尾木成伸